

2 医療費の動向

(1) 一人当たり療養諸費*の状況

① 全国対比

令和3年度の北海道の一人当たりの療養諸費は **421,056** 円で、全国の **394,729** 円と比べて **1.07** 倍で **26,327** 円多くなっています。

表2 一人当たり療養諸費の推移

区分	H29	H30	R1	R2	R3
北海道	397,562円	401,975円	413,568円	402,309円	421,056円
増減	3.1%	1.1%	2.9%	-2.7%	4.7%
全国対比	1.10倍	1.09倍	1.09倍	1.08倍	1.07倍
全 国	362,159円	367,989円	378,939円	370,881円	394,729円
増減	2.6%	1.6%	3.0%	-2.1%	6.4%

出典：厚生労働省「国民健康保険事業年報」
なお、増減及び全国対比は、出典数値を基に道が算出。

② 都道府県対比

令和3年度の一人当たりの療養諸費は、都道府県の中では、北海道 (**421,056** 円) は **18** 番目となっており、一番低い茨城県 (**344,117** 円) と比べて **1.22** 倍で **76,939** 円高くなっています。

2 医療費の動向

(1) 一人当たり療養諸費*の状況

① 全国対比

平成30年度の北海道の一人当たりの療養諸費は **401,975** 円で、全国の **367,989** 円と比べて **1.09** 倍で **33,986** 円多くなっています。

表2 一人当たり療養諸費の推移

区分	H26	H27	H28	H29	H30
北海道	369,929円	383,551円	385,758円	397,562円	401,975円
増減	1.6%	3.7%	0.6%	3.1%	1.1%
全国対比	1.11倍	1.10倍	1.09倍	1.10倍	1.09倍
全 国	333,461円	349,697円	352,839円	362,159円	367,989円
増減	2.7%	4.9%	0.9%	2.6%	1.6%

出典：厚生労働省「国民健康保険事業年報」
なお、増減及び全国対比は、出典数値を基に道が算出。

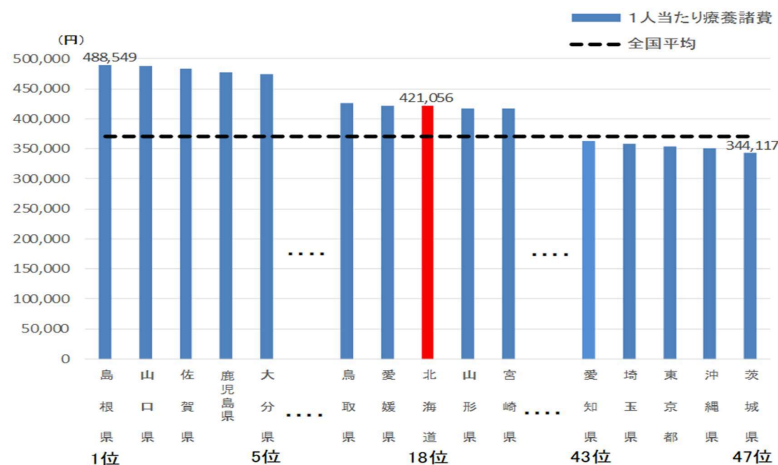
② 都道府県対比

平成30年度の一人当たりの療養諸費は、都道府県の中では、北海道 (**401,975** 円) は **16** 番目に高くなっており、一番低い茨城県 (**321,370** 円) と比べて **1.25** 倍で **80,605** 円多くなっています。

○時点修正

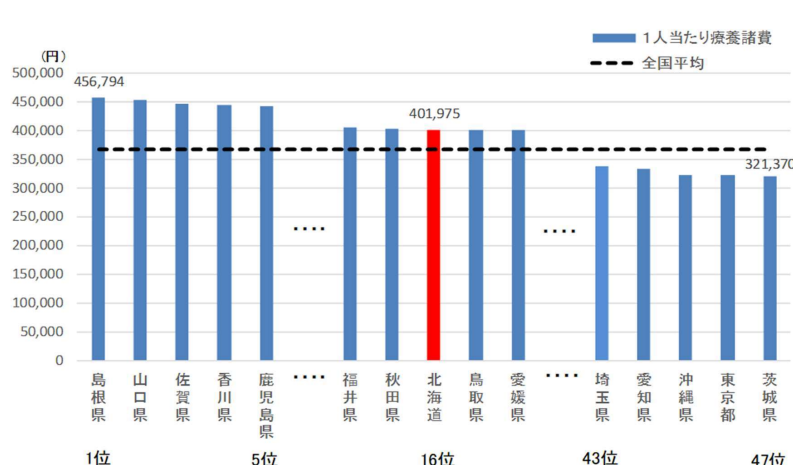
○時点修正
○文言修正

図4 一人当たり療養諸費の全国比較 (R3)



出典:厚生労働省「国民健康保険事業年報」
なお、順位は、出典数値を基に道が算出。

図4 一人当たり療養諸費の全国比較 (H30)



出典:厚生労働省「国民健康保険事業年報」
なお、順位は、出典数値を基に道が算出。

③ 道内保険者対比

令和3年度の道内の一人当たりの療養諸費は、市町村では、占冠村が最低の231,276円なのに対し、赤平市がその2.72倍に当たる最高628,746円となっており、397,470円の差があります。

③ 道内保険者対比

平成30年度の道内の一人当たりの療養諸費は、市町村では、占冠村が最低の229,852円なのに対し、初山別村がその2.42倍に当たる最高556,852円となっており、327,000円の差があります。

表3 一人当たり療養諸費 (R3 道内市町村)

区分	最高	最低	対比
全体	赤平市 628,746円	占冠村 231,276円	2.72倍
一般分	赤平市 628,747円	占冠村 231,276円	2.72倍
退職分	札幌市 474,873円	旭川市 77,890円	6.10倍

厚生労働省「国民健康保険事業年報」の数値を基に道が算出。
※退職分の最低欄は給付額が0の市町村等を除く。

表3 一人当たり療養諸費 (H30 道内市町村)

区分	最高	最低	対比
全体	初山別村 556,852円	占冠村 229,852円	2.42倍
一般分	初山別村 556,852円	占冠村 229,852円	2.42倍
退職分	秩父別町 3,907,852円	浦幌町 12,845円	304.23倍

厚生労働省「国民健康保険事業年報」の数値を基に道が算出。

④ 診療種別医療費の現状

ア 入院

北海道の一人当たりの診療費は172,453円で、全国の144,100円の

④ 診療種別医療費の現状

ア 入院

北海道の一人当たりの診療費は170,227円で、全国の138,887円の

○時点修正

○時点修正

1.2倍で28,353円多くなっています。一日当たりの診療費は39,190円で、全国の38,291円よりも899円高く、一件当たりの日数は16.06日で全国の16.08日と比較して0.02日短く、100人当たりの受診率*は27.40で、全国の23.40より高くなっています（表4及び表5参照）。

疾病分類別の寄与度*で見ると、「新生物」が0.064と一番高く、「神経系の疾患」が0.034、「筋骨格系及び結合組織の疾患」が0.023、「循環器系の疾患」が0.020、「消化器系の疾患」及び「精神及び行動の障害」が0.006の順に続いています（表6参照）。

なお、厚生労働省の令和2年患者調査によれば、北海道の人口10万人当たりの傷病分類別入院受療率では「精神及び行動の障害」、「循環器系の疾患」、「神経系の疾患」、「新生物」の順に受療率*が全国に比べて高くなっています（図5参照）。

表4 入院医療費の状況（R2）

	北海道	全国	差
一人当たりの診療費	172,453円	144,100円	28,353円
一日当たりの診療費	39,190円	38,291円	899円
一件当たりの日数	16.06日	16.08日	▲0.02日

厚生労働省「医療費の地域差分析」の数値を基に道が算出。

表5 受診率の状況（R2）（単位：100人当たり件数）

区分	北海道	全国
計	945.83	1,010.15
入院	27.40	23.40
入院外 +調剤	757.08	801.37
歯科	161.35	185.38

厚生労働省「医療費の地域差分析」の数値を基に道が算出。

1.23倍で31,340円多くなっています。一日当たりの診療費は37,568円で、全国の36,635円よりも933円高く、一件当たりの日数は15.70日で全国の15.90日と比較して0.20日短く、100人当たりの受診率*は28.87で、全国の23.84より高くなっています（表4及び表5参照）。

疾病分類別の寄与度*で見ると、「新生物」が0.071と一番高く、「神経系の疾患」が0.031、「筋骨格系及び結合組織の疾患」が0.028、「循環器系の疾患」が0.023、「精神及び行動の障害」が0.010の順に続いています（表6参照）。

なお、厚生労働省の平成29年患者調査によれば、北海道の人口10万人当たりの傷病分類別入院受療率では「循環器系の疾患」、「精神及び行動の障害」、「脳血管疾患」、「新生物」の順に受療率*が全国に比べて高くなっています（図5参照）。

表4 入院医療費の状況（H30）

	北海道	全国	差
一人当たりの診療費	170,227円	138,887円	31,340円
一日当たりの診療費	37,568円	36,635円	933円
一件当たりの日数	15.70日	15.90日	▲0.20日

厚生労働省「医療費の地域差分析」の数値を基に道が算出。

表5 受診率の状況（H30）（単位：100人当たり件数）

区分	北海道	全国
計	1,002.34	1,062.87
入院	28.87	23.84
入院外 +調剤	809.77	850.03
歯科	163.70	189.00

厚生労働省「医療費の地域差分析」の数値を基に道が算出。

表6 地域差指数*の疾病分類別寄与度（R2 入院）

区 分	疾病例	寄与度(降順)
新生物（Ⅱ）	胃がん、大腸がん、肺がん	0.064
神経系の疾患（Ⅵ）	パーキンソン病、てんかん	0.034
筋骨格系及び結合組織の疾患（ⅩⅢ）	変形性膝関節症、腰痛	0.023
循環器系の疾患（Ⅸ）	高血圧性疾患、心筋梗塞	0.020
消化器系の疾患（ⅩⅠ）	胃潰瘍、十二指腸潰瘍	0.006
精神及び行動の障害（Ⅴ）	統合失調症、躁うつ病	0.006
損傷、中毒及びその他の外因の影響（ⅩⅨ）	骨折、内臓損傷、火傷	0.005
眼及び付属器の疾患（Ⅶ）	結膜炎、白内障	0.002
先天奇形、変形及び染色体異常（ⅩⅦ）	心房中隔欠損症、胆道閉鎖症	0.002
妊娠、分娩及び産じょく（ⅩⅤ）	妊娠、分娩の異常	0.001
呼吸器系の疾患（Ⅹ）	肺炎、慢性閉塞性肺疾患	0.001
周産期に発生した病態（ⅩⅥ）	胎内感染、多胎	0.001
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（Ⅲ）	鉄欠乏性貧血	0.001
内分泌、栄養及び代謝疾患（Ⅳ）	糖尿病、糖代謝異常	0.001
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの（ⅩⅧ）	アレルギー性疾患	0.000
感染症及び寄生虫症（Ⅰ）	結核、ウイルス性肝炎	0.000
耳及び乳様突起の疾患（Ⅷ）	中耳炎、メニエール病	0.000
皮膚及び皮下組織の疾患（ⅩⅡ）	皮膚がん、アトピー性皮膚炎	0.000
腎尿路生殖器系の疾患（ⅩⅣ）	腎不全、尿路結石、前立腺肥大	-0.001
計		0.164

出典：厚生労働省「医療費の地域差分析」

※区分欄のローマ数字は「社会保険表章用疾病分類*」における分類コード。

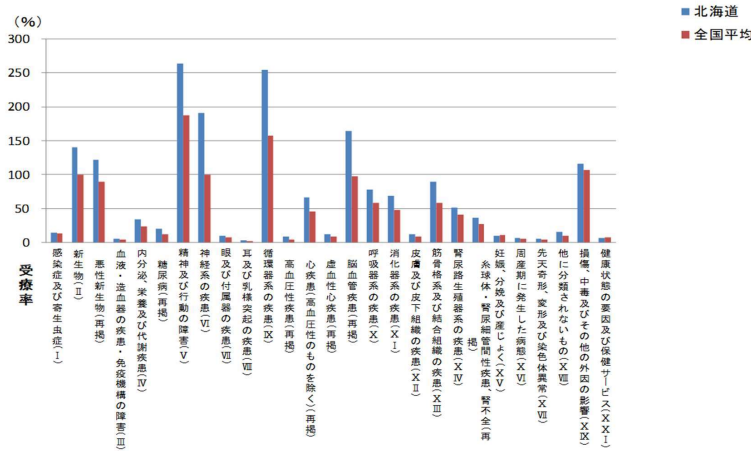
表6 地域差指数*の疾病分類別寄与度（H30 入院）

区 分	疾病例	寄与度(降順)
新生物（Ⅱ）	胃がん、大腸がん、肺がん	0.071
神経系の疾患（Ⅵ）	パーキンソン病、てんかん	0.031
筋骨格系及び結合組織の疾患（ⅩⅢ）	変形性膝関節症、腰痛	0.028
循環器系の疾患（Ⅸ）	高血圧性疾患、心筋梗塞	0.023
精神及び行動の障害（Ⅴ）	統合失調症、躁うつ病	0.010
損傷、中毒及びその他の外因の影響（ⅩⅨ）	骨折、内臓損傷、火傷	0.009
消化器系の疾患（ⅩⅠ）	胃潰瘍、十二指腸潰瘍	0.007
眼及び付属器の疾患（Ⅶ）	結膜炎、白内障	0.002
妊娠、分娩及び産じょく（ⅩⅤ）	妊娠、分娩の異常	0.002
感染症及び寄生虫症（Ⅰ）	結核、ウイルス性肝炎	0.001
内分泌、栄養及び代謝疾患（Ⅳ）	糖尿病、糖代謝異常	0.001
腎尿路生殖器系の疾患（ⅩⅣ）	腎不全、尿路結石、前立腺肥大	0.001
呼吸器系の疾患（Ⅹ）	肺炎、慢性閉塞性肺疾患	0.001
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（Ⅲ）	鉄欠乏性貧血	0.001
先天奇形、変形及び染色体異常（ⅩⅦ）	心房中隔欠損症、胆道閉鎖症	0.001
周産期に発生した病態（ⅩⅥ）	胎内感染、多胎	0.001
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの（ⅩⅧ）	アレルギー性疾患	0.001
耳及び乳様突起の疾患（Ⅷ）	中耳炎、メニエール病	0.000
皮膚及び皮下組織の疾患（ⅩⅡ）	皮膚がん、アトピー性皮膚炎	0.000
計		0.191

出典：厚生労働省「医療費の地域差分析」

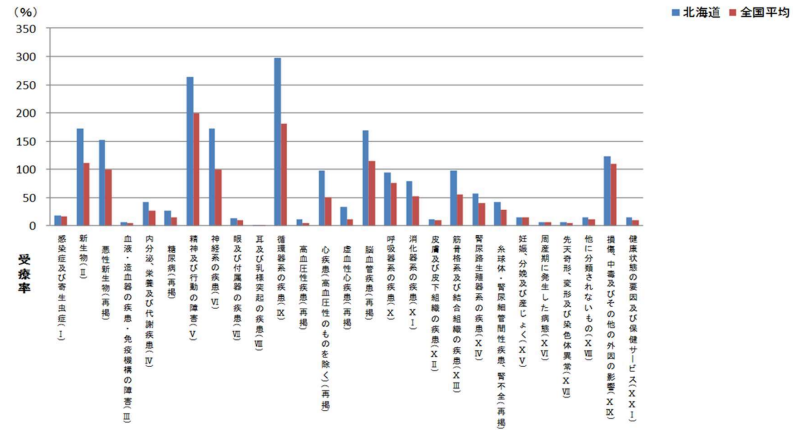
※区分欄のローマ数字は「社会保険表章用疾病分類*」における分類コード。

図5 人口10万人当たりの傷病分類別入院受療率 (R2)



厚生労働省「患者調査」の数値を基に道が算出。

図5 人口10万人当たりの傷病分類別入院受療率 (H29)



厚生労働省「患者調査」の数値を基に道が算出。

イ 入院外(調剤医療費を含み、歯科を除く)

北海道の一人当たりの診療費は **199,151円** で、全国の **194,370円** の **1.02倍** で **4,781円** 高くなっています。一日当たりの診療費は **18,731円** で、全国の **16,125円** より **2,606円** 高く、一件当たりの通院日数は **1.40日** で、全国 **1.50日** を **0.10日** 下回っています(表7参照)。

なお、厚生労働省の令和2年患者調査によれば、北海道の人口10万人当たりの傷病分類別外来受療率では、ほとんどの疾患で全国よりも下回る状況になっています。

また、「健康状態の要因及び保健サービス」、「消化器系の疾患」、「循環器系の疾患」の順に高くなっています(図6参照)。

表7 入院外医療費の状況 (R2)

	北海道	全国	対比・差
一人当たりの診療費	199,151円	194,370円	4,781円
一日当たりの診療費	18,731円	16,125円	2,606円
一件当たりの通院日数	1.40日	1.50日	▲0.10日

厚生労働省「医療費の地域差分析」の数値を基に道が算出。

イ 入院外(調剤医療費を含み、歯科を除く)

北海道の一人当たりの診療費は **197,230円** で、全国の **191,271円** の **1.03倍** で **5,959円** 高くなっています。一日当たりの診療費は **16,918円** で、全国の **14,590円** より **2,328円** 高く、一件当たりの通院日数は **1.44日** で、全国 **1.54日** を **0.10日** 下回っています(表7参照)。

なお、厚生労働省の平成29年患者調査によれば、北海道の人口10万人当たりの傷病分類別外来受療率では、ほとんどの疾患で全国よりも下回る状況になっています。

また、「消化器系の疾患」、「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」の順に高くなっています(図6参照)。

表7 入院外医療費の状況 (H30)

	北海道	全国	対比・差
一人当たりの診療費	197,230円	191,271円	5,959円
一日当たりの診療費	16,918円	14,590円	2,328円
一件当たりの通院日数	1.44日	1.54日	▲0.10日

厚生労働省「医療費の地域差分析」の数値を基に道が算出。

○時点修正